

町の取組や出来事を紹介！

みやきびプラス

No.34

「利便性の高い地域公共交通の構築」を目指して

事業部長 空閑 輝彦

地域公共交通は通勤・通学、通院、買い物など、自らの交通手段を持たない高齢者、学生等にとってはなくてはならないものです。

本町では現在、JR長崎本線、西鉄路線バス（4路線）、高速バスが運行しており、町内を営業エリアとするタクシー会社が2社あります。また、コミュニティバス（5路線）と通学支援バスを町で運行しています。

しかし、モーターゼーションの進捗や少子高齢化に加え、ライフスタイルの変化などにより公共交通の利用者は大きく減少し、また公共交通事業者の乗務員不足など町内における公共交通の状況は厳しさを増しています。一方、高齢化の進展によって免許返納後の移動手段が求められるなど、地域公共交通の必要性は今後高まっていくと考えられます。

そのような中、西鉄バス江見線は運転士不足を理由に、今年の10月1日に廃止されることが決定しています。私自身も江見線の沿線近くに住んでおり、子供のころから慣れ

親しんだ路線であったことから非常に残念な思いがあります。

この路線を日常の移動手段として利用されている方にとっては、必要不可欠な路線であることから、沿線自治体および国・県と協議を重ねた結果、佐賀市・神崎市・みやき町の共同運営による現路線の運行継続が決定しました。

本町では、地域公共交通のマスタープランとなる「みやき町地域公共交通計画」を令和5年3月に作成しています。この計画に明記していますが、現在運行している「コミュニティバス」については、みやき中央線以外の4路線の利用が低迷していることから、地域間幹線を鉄道および路線バスと位置づけ維持しつつ、町を縦断するみやき中央線を地域内の支線と位置づけ、利便性の高い運行を継続します。

さらに3校区の細やかな移動を担う、デマンド型乗合タクシーにより町一体となった公共交通ネットワークの構築を目指します。